

日本学術会議

化学委員会・分析化学分科会（第 25 期・第 11 回）

議事要旨

日時：令和 4 年 12 月 22 日（木）11:10-12:15

場所：オンライン会議

出席者（10 名）：岡本 裕巳、玉田 薫、栄長 泰明、尾嶋 正治、加藤 昌子（副委員長）、
斎藤 公児、佐藤 縁（幹事）、竹内 孝江（幹事）、谷口 功（委員長）、藤本 俊幸

欠席者（1 名）：宮崎 あかね

記録：竹内 孝江

配布資料：

資料番号なし 化学委員会分析化学分科会（第 25 期・第 11 回）議事次第

資料 1 前回議事録要旨（分析化学分科会（第 25 期・第 10 回）議事録要旨）

議事

1) 前回分科会の議事録確認について

前回分科会の議事録要旨を確認した。議事録要旨はメール会議で全委員からすでに承認されており、事務局に提出済み。

2) 日本学術会議の他分科会の動きについて以下の報告があり、情報を共有した。

- ・カーボンニュートラル連絡会議の活動状況説明。シンポジウム開催など。
- ・無機化学分科会・材料化学分科会：「国際ガラス年 2022 記念シンポジウム」を 2022 年 9 月開催。
- ・化学委員会：公開シンポジウム「日本の社会・産業をリードする化学系博士人材とは～産学で取り組む博士人材育成と、これから博士を目指す学生への期待～」を 2022 年 11 月開催。博士に進学させるための工夫や、学部入学前からの情報提供などが必要。
- ・2023 年 2 月か 3 月の通常国会で学術会議の法律の改訂が提案される可能性がある。内閣府「日本学術会議の在り方の方針」（12 月 6 日）および「日本学術会議の在り方について（具体化検討案）」の内閣府総合政策推進室からの説明（12 月 21 日）について説明があり、情報交換した。
- ・国際純正・応用化学連合（IUPAC）の、分析化学分野における 2 つの国際賞候補者推薦依頼。推薦締切日は、2023 年 1 月末日。詳細は 12 月 24 日メールで連絡。

(1) Emerging Innovator Award in Analytical Chemistry

(2) IUPAC Analytical Chemistry Medal

詳細は、<https://iupac.org/iupac-awards-in-analytical-chemistry-2022/>

・来期会員候補者・連携会員候補者推薦については、関係の学会にも依頼している。

3) 今後の予定

谷口委員長から、今期末（9月末）～11月迄に分析化学分科会としてフォーラムを開催したい。一般の方も対象。分析化学分科会委員に、テーマ等の提案の依頼があった。提案を2月末にまとめ、3月にメール会議を予定。

しばらくはメールで意見交換を行う。情報の変遷が速いので相互に情報を共有したい。次回の分科会まではメール会議で議論することが述べられ、閉会した。

以上